

2025年度 看護職員の負担軽減及び処遇の改善に資する計画

医療法人社団崎陽会 日の出ヶ丘病院

1. 目的
- 看護職員の負担軽減及び処遇の改善を目的とする計画を策定し、職員にとって働きやすい職場環境を整備、実現する。患者様からの職員からも「選ばれる病院」を目指し、看護職員が心身共に健康で業務を遂行できるようにして行きたい。
2. 推進組織
- 看護師長会が兼務する
3. 推進責任者
- 山崎看護部長
4. 推進組織構成員
- 看護部長、看護師、事務職員
5. 委員会開催
- 年2回(10月、3月)
6. 病院職員に対する取組の検討と周知方法
- 看護師長会にて負担軽減となる項目を検討する。
- 病院ホームページにて公表する。院内にて掲示する。
7. 2025年度 看護職員の負担軽減及び処遇の改善に資する具体的な取組内容

項目	現状と問題点	目標	具体的計画	目標評価月	達成状況の評価
①業務量の調整	・ 時間外労働は最低限に抑えられている	・ 時間外労働が発生しないような業務量の調整	・ 各病棟共に師長が中心となり、勤務表を作成する	2026.3	
②妊娠・子育て中、介護中の看護職員に対する配慮	・ 育児休暇を取る男性職員がいたり、育児介護中の職員も在籍中、勤務調整を実施している	・ 育児休業、院内保育所の設置、子どもの看護休暇制度導入、育児短時間勤務、夜勤減免制度を継続して実施する ・ 介護休業等取得者を継続してフォローする ・ 他部署への配置転換	・ 人事課と看護部で協力しつつ、対象者となる職員との面談を取得にかかる手続きをフォローする	2026.3	
③看護補助者の配置	・ 外国人看護補助者が増えているが、協力して病棟運営を行っている	・ 引き続き、看護補助者を増やす ・ 看護補助者への業務移管、看護職員と補助者との業務範囲についての見直し	・ 外国人職員採用については、関係機関との連携を深める。業務内容の見直し等についても看護と連携して行う	2026.3	
④看護職員と他職種との業務分担	・ 他部署との連携は良好である	・ 他職種との業務分担明確化	・ 病棟クラークによる事務補助作業の継続実施 ・ リハビリスタッフによる患者様の送迎継続実施 ・ 放射線技師によるベッドサイドでの検査継続実施	2026.3	
⑤その他の整備事項		・ 院内カフェテリア充実 ・ 研修会、勉強会の勤務内での実施 ・ インターネットによるスキルアップ研修 ・ 入職後定期面談を継続実施、定着促進 ・ バースデー休暇新設	・ 院内カフェテリアメニュー改定 ・ 研修会、勉強会の勤務内で実施 ・ インターネットによるスキルアップ実施 ・ 入職後定期面談を看護部にて実施、フォローが必要な場合は本部にて実施	2026.3	

※ 3 月に開催される委員会にて達成状況の評価及び問題点の抽出を行い、次年度の処遇改善計画を作成する。